演習編　１　京都産業大学

特色・対策

▼３科目型：現代文２題、古文１題、２科目型：現代文２題の出題である。

▼現代文は評論１題・小説または随筆１題であり、書き取り・慣用表現・内容説明・空欄補充・内容真偽などが中心である。**書き取り・慣用表現は必ず出題される**ので、正確な知識を身につけたい。

▼古文は語意・口語訳・文法・空欄補充・内容真偽・文学史などである。古文では**基本単語の習得と品詞分解**の練習をしておきたい。

漢字　次の～の傍線部と同じ漢字を含むものを、それぞれの選択肢の中から一つ選べ。

□ **環境問題がシンコクになった。**

① コクダカを量る。

② 美しいケイコクを訪れる。

③ 肉体をコクシする。

④ チョウコクを鑑賞する。

解答

**④　深刻**

①石高　②渓谷　③酷使　④彫刻

□ **友人とは個人が自由に選んでつくるチキであって、**

① 古い機械をハイキする。

② 人情のキビに触れる。

③ コッキ心を養う。

④ キレツが生じる。

解答

**③　知己**

①廃棄　②機微　③克己　④亀裂

□ 　**それは、「商業」とは古代的な共同体におけるあの互酬的な交換とはまったく別のシュツジをもっているという事実である。**

① 筆跡がコクジする。

② ジミな服を着る。

③ ジセキの念にかられる。

④ 効果がジゾクする。

解答

**③　出自**

①酷似　②地味　③自責　④持続

□ 　**そしてそれは専門的な言語学へのショウジンという例外的な場合をのぞいて、**

① クンショウをもらう。

② 不正のオンショウとなる。

③ 時期ショウソウである。

④ ブショウひげをはやす。

解答

**④　精進**

①勲章　②温床　③尚早　④無精

□ **「あはれ」という言葉を、単にめずべきこと、ジョウシュがあることと置きかえるだけの学習からは、**

① 仏道シュギョウをする。

② 料理にシュコウをこらす。

③ シュギョクの短編を読む。

④ トクシュな技術を持つ。

解答

**②　情趣**

①修行　②趣向　③珠玉　④特殊

ことば　次の～の傍線部のことばの意味として最も適切なものを、それぞれの選択肢の中から一つ選べ。

□ **それから両三日、ブリュージュは明けても暮れても霧に閉ざされていた。**

① 二、三日　　② 三、四日

③ 五日　　　　④ 六日

解答

**①**

□ **部屋が狭いとか、が狭いとか言ってらちがあかない。**

① なかなか理解できない。

② なかなか諦められない。

③ 突破口が見つからない。

④ いつまでも決心がつかない。

解答

**③**

□ **「（ア）虫が好かない」とか「（イ）うまがあう」などという俗言は、友人の選択基準が曖昧であることを示すとともに、**

① 気味が悪いので嫌う。

② なんとなく嫌う。

**（ア）**③ 心の底から嫌う。

④ 潔癖症なので嫌う。

① 食べものの好みが一致している。

② 得意なことが一致している。

**（イ）**③ いつの間にか顔を見合わせている。

④ 自然に気持ちが通じている。

解答

**（ア）　②**

**（イ）　④**

□ **寸暇を惜しむといったふうな精の出し方で励んでしまう。**

① わずかな資料を大切に使う。

② 集中力が切れることを恐れる。

③ 少しの時間でも無駄にしない。

④ ほんのわずかな隙さえも見せない。

解答

**③**

ことば　次の文の傍線部の「紺屋の白袴」は一般的な慣用句と異なる意味で使われている。慣用句の「紺屋の白袴」に最も近い意味のものを、選択肢の中から一つ選べ。

□□10 　**のというが、白袴を汚さぬよう、それほど慎重に染めたということだそうであるが、**

① も筆の誤り

② 医者の不養生

③ 馬の耳に念仏

④ 良薬は口に苦し

解答

**②　「医者の不養生」**

ことば　次の□11・□12の空欄甲・乙・丙に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、選択肢の中から一つ選べ。

□□11 **［　甲　］堅固な言葉の世界が私のなかに確立されているなら、ブリュージュの霧をおそれることはなかっただろう。私の手持ちの日本語が、私のうちに生起する感覚と印象をあらかじめ取捨し、一向にのあかぬような心の動揺を排除し、いったん受けれた限りの外的衝撃には、さっそくそれに対応する言葉の種類によって衝撃波を制動するような言葉のシステム、［　乙　］成句集というものを、私の手持ちの日本語がしっかり掌握していたら、私はブリュージュの霧をおそれなくて済んだかもしれない。［　丙　］、私の意識に上るものと私の見つける言葉は、そのとき釣り合いを保っただろうから。**

① つまりは―なぜなら―もしも

② つまりは―もしも　―なぜなら

③ なぜなら―もしも　―つまりは

④ なぜなら―つまりは―もしも

⑤ もしも　―つまりは―なぜなら

⑥ もしも　―なぜなら―つまりは

解答

**⑤**

□□12 **が混沌でいつまでも変化がなく活動がなくては困りますが、その混沌たる物が差しり混沌としているところに大変にいがある。［　甲　］幾ら混沌とした物でも、それが動く段になると刀も出ればも出れば何でも出て来る。［　乙　］動く時には何かしら出て来る。［　丙　］その土台は混沌として居る。余りさっぱり、きちんとなっているものは、動く時に小さい用には立つが、大きい用に立たない。小才というのもそんなような意味ではないかと思うのです。**

① いずれ　―けれども―どうせ

② いずれ　―どうせ　―けれども

③ けれども―どうせ　―いずれ

④ どうせ　―いずれ　―けれども

解答

**④**

古文　次の□13～□16の傍線部の解釈として最も適切なものを、それぞれの選択肢の中から一つ選べ。

□□13 **「今はかく**Ｘ**れぬれば、何事なりともな隠しそ。さてもいかなることのあるぞ」と、「かくただならぬ気色なるは」と**Ｙ**あながちに問ひければ、女のいはく、……このは、のいみじく便りのつきて、ここにかくて年ごろ居たりけるが、かまへてが京にありしを盗み取りて養ひ置きて、**Ｚ**したてて時々に参らすれば、参り会ひたる男、我を見てかやうにすれば、**

① あなたとも親しくなったので

② 衣服も着なれてきたので

**Ｘ**③ 食事も味がこなれてきたので

④ 住まいにもなじんできたので

① 身勝手に

② ゆっくりと

**Ｙ**③ 強く

④ 遠慮がちに

① 下手に出るように

② わけしり顔で

**Ｚ**③ 美しさを押し立てて

④ それらしく作って

解答

**Ｘ　①**

**Ｙ　③**

**Ｚ　④**

□□14 **いかなるたよりにか、この殿、この姫君をいかでと心深う思ひ聞こえ給ひて、**Ｘ**けしきだち聞こえ給ひけり。……母上例の女に似給はず、いと心かしこく**Ｙ**かどかどしくおはして、「などてか、ただこの君を婿にて見ざらん。時々物見などに出でて見るに、この君ただならず見ゆる君なり。ただ我に任せ給へれかし。この事しうやありける」と聞こえ給へど、**

① ひどく興奮し

② 分かってくれるものとし

**Ｘ**③ 顔色を赤くし

④ そぶりにはっきり表し

① 角張ったところがおありで

② 細々と気遣いをなされる方で

**Ｙ**③ 才気だっておられて

④ 無理をなさるところがあって

解答

**Ｘ　④**

**Ｙ　③**

□□15 **雪の面白う降りたりし、人のがり言ふべきことありてをやるとて、**

① 人のもとへ　　② 人が仮に

③ 人が逃げて　　④ 人の言いのがれに

解答

**①**

□□16 **わざとならぬ匂ひしめやかにうち薫りて、忍びたるけはひ、**

① がまんしている様子　　② 目立たぬような雰囲気

③ つつましい人柄　　④ 秘密めいた匂い

解答

**②**

文学史　次の□17・□18の設問に該当するものを、それぞれの選択肢から一つ選べ。

□□17 **次の作品の中からの著作。**

① 古事記伝　　　②

③ 万葉代匠記　　④ 日本

解答

**①**

②滝沢（曲亭）、③、④。

□□18 **中宮に仕えた女房で、虚構の人物の栄華を語る長編物語を描いた人。**

① 　　　②

③ 　　④

解答

**①「源氏物語」**

②平安中期の女流歌人。③平安中期の歌人で一条帝の中宮彰子に仕えた。④中宮定子に仕えた女房で『枕草子』の作者。

和歌　次の歌で掛詞が用いられているのはどの部分か、最も適切なものを選択肢の中から一つ選べ。

□□19 **いかにせむいくべきかたをおもほえず**

**親に先だつ道をしらねば**

① いかにせむ

② いくべきかたを

③ おもほえず

④ 親に先だつ

解答

**②**

文法　次の文の傍線部を説明したものとして、最も適切なものを選択肢の中から一つ選べ。

□□20 **天井の上に、あくびさしてやあらむ、とおぼゆる声ありて、**

① 「や」は係助詞で強調の意味を表し、文末は係り結びとなる。天井に得体の知れない何ものかが潜んでいることを、不気味な「あくび」声を強調することで察知させる。

② 「さし」は動詞の連用形に接続して、動作をしかけてやめる、という意味を表す。緊迫したストーリー展開を中断することで絶妙な間が生じ、その後の悲劇を際立たせる。

③ 「や」は係助詞で強調の意味を表し、文末は係り結びとなる。母に見守られる中、死期が刻々と近づいているの魂の叫びを、鬼気迫る描写で強く印象づける。

④ 「さし」は動詞の連用形に接続して、動作をしかけてやめる、という意味を表す。それが天井の何ものかの、人間の言葉ともつかない不気味な声を具体的にイメージさせる。

解答

**④**

文法　次の傍線部が音便化などで語形変化を起こす以前の形として、最も適切なものを選択肢の中から一つ選べ。

□□21 **殿、「すべてあべい事にもあらず」とおぼいたり。**

① あべき事　　　② あんべき事

③ あんべい事　　④ あるべき事

解答

**④**